

みんなのからきょう

54

—Contents—

特集 2~4

身近にできる地球温暖化防止活動
～小さな努力を大きな力に～

私達の活動紹介 5

越前市アースサポーターの会
（株）NTTドコモ北陸

協議会事業報告 6~7

環境クイズ 8

写真・「日引の棚田」

—高浜町—



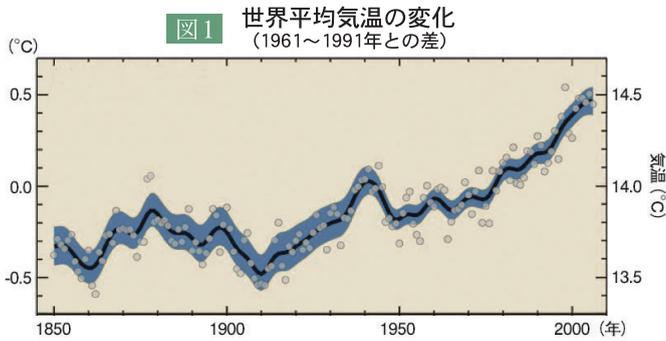
環境ふくい推進協議会

身近にできる地球温暖化防止活動

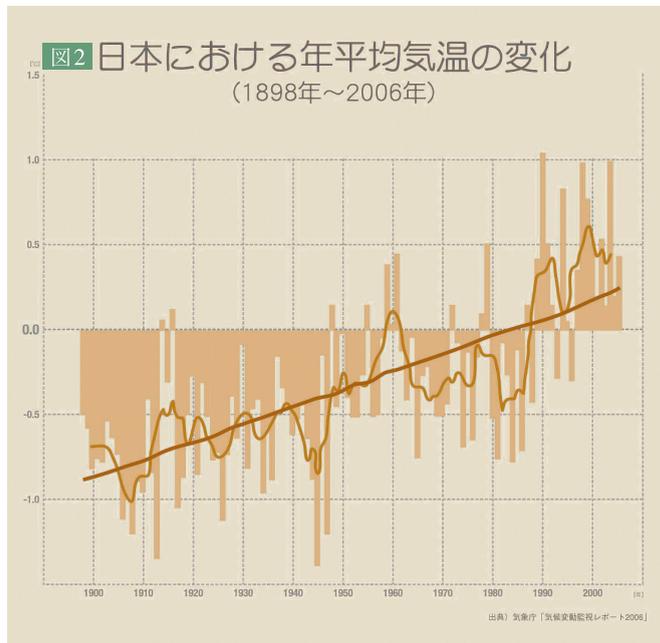
小さな努力を大きな力に

地球温暖化は進んでいる！

ノーベル平和賞を受賞した気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が2007年に公表した第4次評価報告書は、2005年までの100年間に世界の陸域の平均気温が0.74℃上昇したこと（図1）、20世紀を通じて平均海面水位が17cm上昇したこと、



雪氷の広範囲な融解が観測されていることから、気候システムが温暖化していることには疑う余地がないと報告しています。日本では、2006年までの100年間に陸域の平均気温が1.1℃上昇しているとのこと（図2）。地球温暖化は、台風の強大化、異常気象の頻発、国内の農業生産への影響などを通じて、われわれの身近な生活に大きな影響を及ぼす可能性があります。



大変な努力が必要な削減約束

地球温暖化防止のための第一歩である京都議定書の第1約束期間が今年から始まりました。2008年から2012年の5年間の温室効果ガスの排出量を基準年（1990年など）の温室効果ガスの排出総量から6%少ない量にまで削減しなければなりません。

※温室効果ガス：二酸化炭素、メタン、代替フロン類など

しかし、2005年の温室効果ガス排出量は13億6000万トンで、基準年（1990年）からみると7.8%増となっています。従って、2005年から見ると13.8%削減しなければなりません。このためには大変な努力が必要ですが、企業や公共機関などの削減努力はもちろんのこと、私たちも日々の暮らしの中で、少しでも、二酸化炭素などの温室効果ガスを排出させないよう、努めていかなければなりません。

小さな努力を大きな効果につなげよう！

私たちは知らないうちに必要のないエネルギーをたくさん使用しています。そこで、ムダなエネルギーの使用を減らしていくことがわたしたちの地球温暖化防止活動の第一歩です。照明やテレビ、エアコンなどをこまめに消したり、エアコンの設定温度を夏は高めに、冬は低めに設定したりすることなどにより、電気の使用量を減らすことができます。

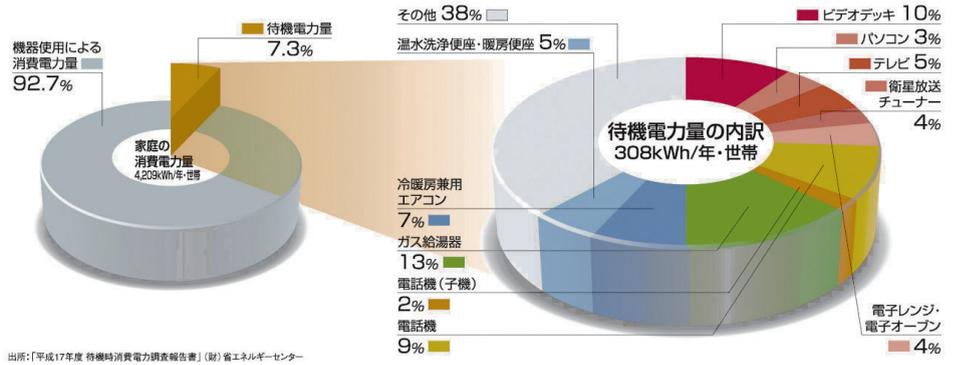
指示待ち状態などのときに消費される待機電力は、家庭での電気消費量の7.3%を占めています（図3）。しかし、主電源をこまめに切ったり、長期間使わない時にはコンセントを抜いたりすることで50%程度の削減が可能とされています。

このように、ちょっとした工夫でエネルギー消費

では、家庭でもできる実践活動を、いくつか御紹介します。まず、試してみたいのは、毎月、「環境家計簿」をつけることです。電気やガスの使用量の検針結果には、前年同月の電気やガスの使用量が出ていますので、比較をすれば自分が行った省エネの努力の効果を見ることが出来ます。もちろん

実践してみよう！

図3 家庭における待機電力量の内訳



出所:「平成17年度 待機時消費電力調査報告書」(財)省エネルギーセンター

量を削減できるので、家庭でのエネルギーの使用を今一度見直してみるのが重要です。エネルギー消費量を減らすことは、経費の節減にもつながりますね！

環境家計簿のつけかた



領収証などから、使用量等を読み取って「使用量」の欄に記入します。水道は2ヶ月分なので、2分の1を記入します(1ヶ月分の場合はそのまま)。灯油・ガソリン・ゴミ等は1ヶ月分を合計して記入します。(使用した項目だけ記入します。)

「使用量」の欄に記入した値に、「排出数」を掛けた値を「CO₂排出量」の欄に記入します。

これらの「CO₂排出量」を全部の項目(使用した全ての項目)について合計したものが、あなたの家庭で使われたエネルギーに伴って排出された二酸化炭素の合計量になります。

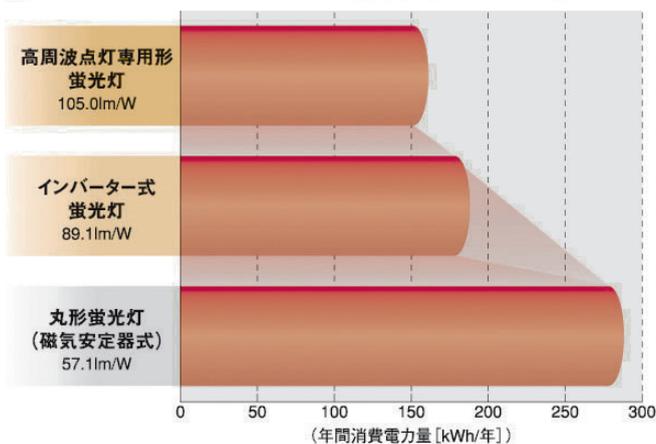
エネルギーの使用

項目	使用量×CO ₂ 排出係数=CO ₂ 排出量		
電気	kWh	× 0.457	=
都市ガス	m ³	× 2.1*	=
LPガス	m ³	× 6.5	=
水道(上下水道)	m ³	× 0.36*	=
灯油(石油ヒーターなど)	L	× 2.5	=
ガソリン(自動車など)	L	× 2.3	=
ゴミ(可燃ゴミ)	Kg	× 0.34	=
CO ₂ 排出量の合計(二酸化炭素)			kg-CO ₂

上記排出係数は2008年1月現在の最新値(2006年度値)です。

条件が同じではありませんので、厳密な比較ではありませんが、これを毎月つけることで、節約をしながら、環境にも優しい生活ができます。

図4 蛍光灯照明における省エネ比較(代表3製品の比較)



注:光束値約7,900lm(8~10畳用)を得るための消費電力を算定し、1日5.5時間使用した場合を想定。(いずれも同一メーカーの製品。平成19年7月時点のカタログ値を参考。)

出所:(株)住環境計画研究所調べ

第2段階で、ぜひ、やっていただきたいのは、省エネルギー型の家電製品に買い替えたり、新しく購入する際にできるだけ省エネルギーの製品を選んだりすることです。中には、高額なものもあり、初期投資が必要になりますが、長期的にみると経済的にも見合い、お得なものがあります。もっとも簡単なのは、照明器具の変更です。従来型蛍光灯をインバーター制御のものに転換すると20%程度(図4)、白熱電球を電球型蛍光灯に転換すると80%程度の電気使用量の削減になります。(図5) いずれも従来型の機器よりも値段は高いですが、1年程度で経済的にも有利になります。

冷蔵庫やエアコンなど年間を通じて継続的に使用される機器は、効率のよいものを使用するとエネルギー消費の大幅な削減につながります。10年ぐらい前の冷蔵庫を最新のものに買い換えることにより、消費電力が50%ぐらい減った例もあります(図6)。同様に10年ぐらい前のリビング用エアコンを最新のものに買い換えることにより、消費電力は3分の2ぐらいに減ります(図7)。

エネルギー消費量を減らすこと以外にも身近でできる地球温暖化防止活動はいろいろとあります。ゴミを減らすという観点からの行動も地球温暖化防止につながります。例えば、できるだけ簡易な包装の

図5 電球形蛍光灯と白熱電球の消費電力の比較

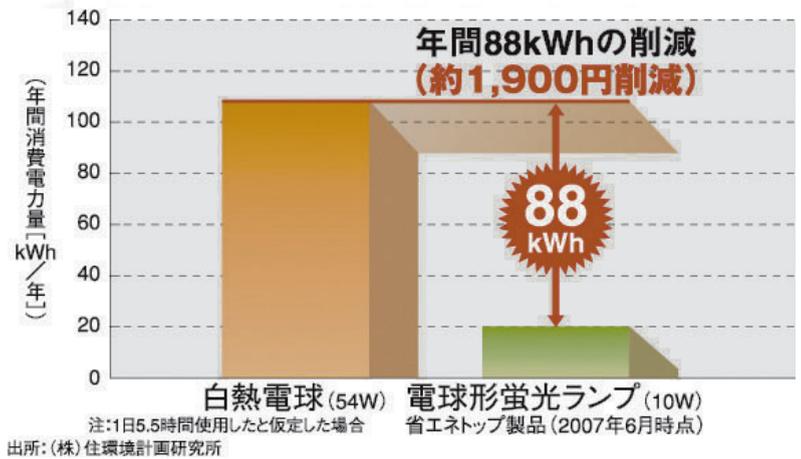


図7 10年前のリビング用エアコンを最新トップ製品に買い替えた場合の省エネルギー効果および節約効果

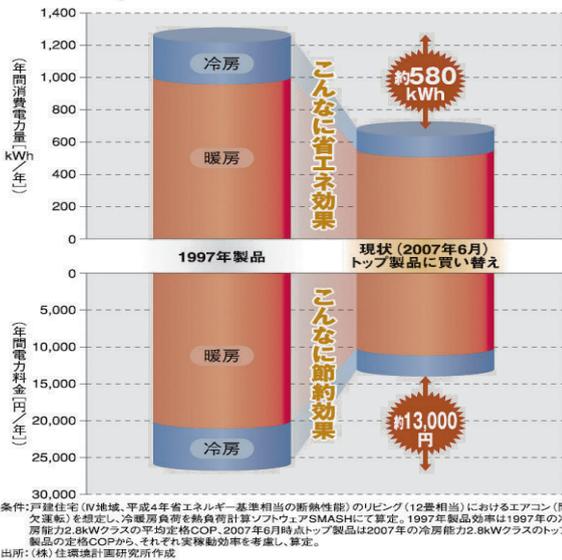
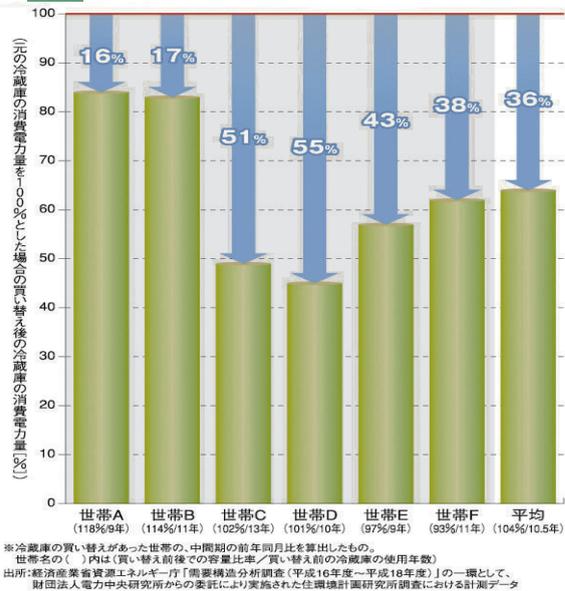


図6 冷蔵庫の買い替えによる省エネ効果の実測例



製品を選ぶ。マイバックを持参してレジ袋を断る。マイ水筒を持参したり、マイ箸を持参したりして、ペットボトルや割り箸などのゴミを出さないようにする。これらの工夫もその一つです。

また、水道水は、「川や湖から水を浄水場に運ぶ↓浄化処理をする↓配水池に送る」といった、家庭に至る一連の流れの中でたくさんのエネルギーを使用しており、エネルギーのかたまりでもありません。したがって、水道水の節約も地球温暖化防止につながります。シャワーを流しっぱなしにしない、風呂の残り湯を洗濯に使う、など様々な工夫が考えられるでしょう。

そして、国内の排出される二酸化炭素の割合においては、自動車の運転による排出量も大部分を占めています。一定の距離のところまでは、徒歩や自転車で行くようにしましょう！自分の足で歩くことは、地球温暖化対策としても、健康づくりとしてもいいことです。やむを得ず、自動車を運転するときには、もちろんエコドライブで。ガソリン代も高いですからね。

一人ひとりの力は小さくても、多くの人々が取り組めば、その効果は非常に大きなものになります。京都議定書の目標を達成するために、いまず、みんな力を合わせましょう！

(全国地球温暖化防止活動推進センター)



越前市アースサポーターの会

当会は、越前市内のアースサポーター（地球温暖化防止活動推進員）でつくる集まりで、推進員募集当初の平成12年度から活動に励んでいます（当初は「たけふアースサポーターの会」）。現在の会員は10名で、毎月会議を開き、計画を立てて活動を続けています。

全体活動としては、毎月第1日曜日に市内のショッピングセンターにて子供向け環境紙しばいの上演



を行なっているほか、市の環境イベント等の際には環境コントを熱演（？）し、おもしろおかしく「ようやるわ！」と言われるところまで、楽しく地球温暖化防止を訴えています。

また、スタッフ各自のエコ活動としては、家庭生ゴミの堆肥化や小学生のゴミ分別体験支援、地域と子供たちが協働で行なう植林活動などに携わっております。

天候の変動が大きく暖かかったり寒すぎたり、この春もやっぱりオカシイと感じました。

子供たちへ健全な地球を贈るため、現在から未来までの人づくりと環境づくりを行なっていきたいと考えています。

（越前市アースサポーターの会）



(株)NTTドコモ北陸



2007年10月5日に行われた調印式

NTTドコモグループでは、1999年より、自然環境保護の一環として「ドコモの森」づくりを実施しています。ドコモ北陸でも、2001年に石川県小松市に「ドコモ垂水の森」を設置してから、計9回の整備活動を実施してきました。これに続き、2007年10月に勝山市平泉寺地内に誕生したのが、「ドコモ勝山平泉寺の森」です。

「ドコモ勝山平泉寺の森」は、平泉寺から白山への修験道「越前禅定道」の中間地点に位置し、森林や歴史と触れ合う場所として最適です。広さは約900㎡で、テニスコート約4面分に相当します。福井県が推進する「企業の森づくり」の第1号として、ミズナラ等の苗木を、勝山市からは記念植樹のブナを、計117本提供していただき、植樹を行いました。今後も毎年、下草刈・補植・植林活動を行っていく計画です。社員やその家族が森での整備活動、自然と触れ合う体験を通じて、環境保護やボランティア意識向上を図るとともに、地域の方々との交流の場としても活用したいと考えております。



植樹の様子



「ドコモの森」は、2008年3月現在、全国36ヶ所、総面積は約171ヘクタール（ha）となりました。これは野球場（グラウンド面積1.3ha）約131個分に相当します。今後は、地球温暖化防止の観点からも計画を早め、2012年までに全国47都道府県すべてに設置する予定です。

今後も皆様とともに環境保全を考え、地球に優しい活動を推進してまいります。

（株）NTTドコモ北陸 総務部

環境ふくい推進協議会事業報告

2007環境活動リーダー育成講座を開催しました

地域における環境保全活動の中心となるリーダーの育成を目的に、「環境活動リーダー育成講座」を開催しました。講義2回、実習2回、演習1回の計5回を通して延べ92名の方が参加されました☆
全4回（3、4回は選択式）全てを受講された6名の方には修了証が授与されました。

- ・・・講義形式
- ・・・実習形式
- ・・・演習形式

第1回10月3日(水) AOSSA

講師 鹿住貴之さん(NPO法人JUON(樹恩)NETWORK)
テーマ 温暖化防止に向けた森林楽校の取組み



講座の開催に当たり、講座を通じてのねらいの共有化を図りました。
国内の荒れた森林を整備し、間伐材を利用した国内産の割箸の使用を推奨している、「JUON(樹恩)」の活動紹介を通じ、様々な視点から里地里山に関わることについて学びました。

第2回10月7日(木) AOSSA

講師 新田章伸さん(NPO法人里山倶楽部)
テーマ 里山保全と温暖化防止
～日本型環境教育という視点～

里山倶楽部では、廃村に近い集落の古民家を利用して、体験型の環境教育事業を展開しています。日本の昔の生活を学び、単なる懐古主義にとどまらず、里山の暮らしの利点を知り、現代のライフスタイルを見直すヒントを得る、ということ学びました。



第3回10月27日(土)～28日(日) 宿泊^{おいさこ}老左近集落(おい町)

講師 NPO法人森林楽校森んこ
テーマ 廃村集落の保全活動と持続可能な社会に向けてのアピール方法
地元で集落の存続に関わるNPO法人「森んこ」との交流を通じて集落再生への取組みについて考えました。



<1日目>天候が悪かったので、室内で植物調査の手法を学習し、近くの植物が何なのかを図鑑を使って調べました。虫取りの方法やネイチャーゲームも学びました。



<2日目>活動の拠点となっている小民家の周辺の動植物調査や、竹林の密度調査、カヤの刈り取りなど、実際に自然に触れる実践型の体験活動を行いました。

- 参加者の声**
- ・1泊2日では、短すぎる感じでした。
 - ・森んこのみなさんの本当に仲の良い楽しそうな雰囲気、暮らしに溶け込んだ無理の無い感じを見て、改めて日ごろの自分を振り返りました。また来たいです。

第4回11月4日(日) しらやま地区(越前市)

講師 しらやま振興会・菖蒲谷地区壮年会
テーマ 里地里山の実態と維持方法を地域の方たちから学ぶ

環境省の、全国「里地里山保全再生事業」の四箇所の一つで、保全再生活動が進められている「越前市しらやま地区」において、参加者が、一丸となって、木を伐採し、田んぼピオトープへの用水設置を、地元の方々と一緒に行いました。
切り出し作業は、大変でしたが、みなさん活き活きと活動されていました。
山へ入っての活動の後は、菖蒲谷壮年会の方々の活動の様子や、今後について、お話を聞き、意見を交換しました。



参加者の声

- ・木を伐採する作業はウキウキして楽しかったです。地域の情報も聞けてよい研修会になりました。参考にさせていただきます。
- ・地域の人たちとそれ以外の地域の人と一緒に活動していることに、人のつながりの深さを感じました。



第5回11月25日(日) AOSSA

講師 坂本均さん(ノーム環境教育事務所)
テーマ 講座全体のふりかえりと交流会の企画づくり



体験実習の発表を通じてこの講座で学んだことをふりかえり、今後に生かすため、環境パートナーシップ交流会の企画について考えました。みなさん、活動を通して考えたこと学んだことなどを積極的に話されていました。

- 参加者の声**
- ・人脈づくりという点で、とても参考になった。
 - ・県内でも、地域によって活動に対する温度差があるが、フィールドワークと一緒に体験すると、共感できるように感じる。
 - ・県内の各団体の取組みについてあまり知らなかったが、理解を深めることができてよかった。

「環っとながろう！」～環境パートナーシップ交流会～を開催しました

平成20年2月16日(日)越前市福祉健康センターにて、住民、団体、企業、行政がそれぞれの特性を活かし、地球温暖化問題やエネルギー問題、自然保護、リサイクルなどの環境問題について輪になって話し合うための交流会を開催しました。当日は悪天候にも関わらず、団体や企業の方々約70名が参加され、交流を深めていただきました。

プログラム

1 基調講演

「みんなで考えよう!？」

安全安心を支えるふくいの環境保全活動ー健全な地域を目指してー

福井工業高等専門学校環境都市工学科 准教授 奥村光司 氏

京都議定書における、日本の大幅な温室効果ガスの削減目標を前にして、エネルギー問題や、豊かな暮らし、教育システム、食、など様々な面から将来の世代に残していく地球のことを私たちは考えていかなければならない。地球温暖化という「病気」になった地球について、行政はもちろん、一般の方や、企業など、様々な主体の境界線を無くして取り組んでいくことが必要である。と、御講演いただきました。

☆今回は、10月から行われた「環境活動リーダー育成講座」に参加された方たちの中から、実行委員を募り、企画・運営を行いました!



実行委員が作成したチラシ

2 環境活動に取り組む企業・団体の活動報告(6 団体)

6団体の報告について御紹介させていただきます。

1.(株)リコー福井事業所

敷地内のピオトープにおける子どもたちへの環境教育活動について御紹介いただきました。これからの子どもたちに、自然の大切さ、不思議さ、面白さを体験させ、環境を守ることの大切さを教えた」と語られました。

2.ハスプロジェクト推進協議会

三方五湖沿岸の湿地に設けた水田での無農薬米の栽培や、湖の魚類調査などの取組みについて御紹介いただきました。だんだん生き物が生息する場が少なくなってきたことなどを危惧し、若い世代にもっと湖の生き物と関わってほしいと語られました。

3.福井県民生活協同組合

昨年10月から「ハーツつるが」で始めたレジ袋有料化の取組みについて御紹介いただきました。有料化により、レジ袋を削減させることは、小さな活動かもしれないが、みんなでやれば大きな結果が得られる、と語られました。

4.市民共同発電所

太陽光発電を市民共同の力で普及させ、既存のエネルギーに頼るだけでなく、自然で、クリーンなエネルギーを利用しようとする活動について御紹介いただきました。太陽光を自家発電に使用することは、地産地消の考えにも結びつき、とても重要な鍵になると語られました。

5.日鉦敦賀リサイクル(株)

敷地内に生息するホタルの保護のため、地元の団体(水辺会、萩の会)の方達と一緒に取り組まれている、保護活動について御紹介いただきました。今後は、ステークホルダー(利害関係者)の方々と連携をさらに密にし、環境教育の分野にも挑戦していきたいと語られました。

6.菜の花公夢典

足羽川の河川敷の環境美化、(菜の花の整備、清掃)、活動について御紹介いただきました。菜の花フェスタなど、市民が一丸となって、まちづくりに取り組まれています。これからは、少しずつ目標を時代に沿って変化させながら取り組んでいきたいと語られました。

3 グループ別分科会

活動報告を聞いた後、テーマ別に3つのグループに分かれて、それぞれ、意見交換をしていただきました。

- A.生物多様性・自然環境の保全について
- B.地球温暖化問題について
- C.協働で取り組む環境保活動

みなさん、活発な意見交換をされていました!



「菜の花公夢典」4mに渡る巨大パネル展示

工 コ運転について、言葉としてはよく聞きますが、具体的には理解していませんでした。今回の記事を読んで、理解を深めました。

(坂井市 Sさん)

自 家用自動車が多くなるにつれて、CO₂を排出しているとは知りませんでした。大いに反省すべきと思います。まずは、近い所は、どんなに雨が降っていても、全て自転車で行くことを心がけたいと思います。このことを、家族で話し合い、それを近所や地域の人に広げたいですね。

(大野市 Iさん)

工 コドライブのすすめ、参考になりました。乗らずに歩く、自転車を利用するなどCO₂を出さない工夫を考えることが、前提になろうかと思いましたが、「少しでもCO₂を減らす」ことを、一人ひとりが考えていくことが大切だと思います。できることから始めましょう!

(敦賀市 Uさん)

通 勤途上、一定速度(40~45km/h)で走る車の後になる事が多く、追い越しをする事がありませんでしたが、おそらくその方はエコドライブをされているのかもしれないですね。

(勝山市 Kさん)

読者窓 たくさんのおはがき、お手紙ありがとうございました。紙面の関係上、全部を掲載できなかったことをお詫言いたします。今後とも、より良い情報紙とするため、みなさまのお便りをお待ちしております。

チャレンジ!! 環境クイズ

今回は「身近な温暖化防止活動」がテーマです。全問正解めざしてチャレンジしてみてくださいね。御応募お待ちしております!

第1問 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) の第4次評価報告書では、20世紀を通して、海面水位が何センチ上昇したと報告されたのでしょうか。

- ① 約5センチメートル
- ② 約17センチメートル
- ③ 約32センチメートル

第2問 照明器具を変更する時、蛍光灯を従来のものから、インバーター制御のものに轉換すると、何パーセント程度、年間電気使用量が削減されるのでしょうか。

- ① 約20パーセント
- ② 約50パーセント
- ③ 約80パーセント

第3問 家庭でできる、温暖化防止対策として間違っているのは、次のうちどれでしょうか。

- ① エアコンの設定温度を、夏は低めに、冬は高めに設定する。
- ② マイ水筒、マイバッグを持ち歩く。
- ③ 省エネ製品を購入する。

前回解答

第1問 ③ 約50%
 第2問 ① 道新(走行)時
 第3問 ④ 常に前の車の速度に合わせて走行する。

環境クイズプレゼントの当選者発表は、発送をもってかえさせていただきます。

環境クイズ応募要領

★方法 法/答えを官製ハガキに記入の上、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別および本紙の感想を書いて、当協議会まで郵送してください。

★締切日/平成20年5月31日(当日消印有効)
 全問正解者の中から抽選で、図書カードをお送りいたします。

[応募先] 〒910-8580
 福井県庁内 環境ふくい推進協議会

環境ふくい推進協議会 会員募集!!

環境ふくい推進協議会では、随時会員を募集しています。

環境問題に関心のある方、本紙『みんなのかんきょう』を毎号読みたい方、当協議会主催行事等の情報を知りたい方は、ぜひご入会ください。お待ちしております!

年会費 個人会員：500円
 企業会員：10,000円
 (1口以上何口でも可)
 団体会員：無料

申込み・問合せ先
 環境ふくい推進協議会事務局
 (福井県環境政策課内)

TEL : 0776-20-0301

未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと 第60回 全国植樹祭2009ふくい

47年ぶり2度目の開催

豊かな自然を支える森林・緑について理解を深める行事、「全国植樹祭」が平成21年春季に福井県で開催されます。当日は、記念式典や記念植樹のほか、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播きなどがおこなわれます。



式場イメージ図

式典会場は一乗朝倉氏遺跡

記念式典等が行われる式典会場は一乗朝倉氏遺跡、式典参加者が記念植樹を行う植樹会場は、福井市脇三ヶ町と朝谷町、そして、どなたでも参加できる地域会場を、坂井市、大野市、越前町、若狭町に設けます。

3つの県民運動を展開しています

県では、植樹祭をきっかけに、身近なところからはじめることのできる3つの県民運動をすすめています。『「健康長寿ふくい」の自然を知り、伝えよう』『元気な森をつくろう』『花と緑にあふれるふるさとをつくろう』の各県民運動の情報は、ホームページ等で紹介しています。



「健康長寿ふくい」の自然を知り、伝えよう



元気な森をつくろう



花と緑にあふれるふるさとをつくろう

福井県農林水産部県産材活用課 全国植樹祭室 TEL 0776-20-0750

ホームページをご覧ください!!

第60回全国植樹祭

検索

写真募集!

みんなのかんきょうの表紙を飾る写真を募集します。福井県内の自然の風景であれば、何でも構いません。多数のご応募お待ちしております。

※採用された方には記念品を送らせていただきます。

環境ふくい推進協議会からのお知らせ

メールマガジン

環境ふくい推進協議会では、環境に関するイベント情報をメールマガジンを活用し、タイムリーに提供することにより、会員相互の情報の共有化を図っています。

情報を発信したい方、受信したい方は下記アドレスまでご連絡ください。
⇒⇒⇒ E-mail : kankyou@pref.fukui.lg.jp

ホームページ

協議会の事業紹介やイベント案内、『みんなのかんきょう』のバックナンバーも掲載しています。

⇒⇒⇒ http://www.erc.pref.fukui.jp/eco/kfs.html

編集後記

春が来ました!お天気が続くと、本当に外に飛び出したいくなります。そして、もうすぐ桜の季節です。夜桜鑑賞や、お花見など色々楽しいイベントが多いようですが、出したゴミはきちんと持ち帰り、最後まで気持ちよく過ごしましょう☆

